SIDR 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

発行年月日：平成 26 年（2014 年）10 月 24 日
発　　行：滋賀県感染症情報センター
滋賀県衛生科学センター 健康科学情報担当
電話：077-537-7438　FAX：077-537-5548
e-mail：eh4505@pref.shiga.lg.jp

週報 平成 26 年（2014 年）第 42 週 （10 月 13 日～10 月 19 日）

- 第 42 週に腸管出血性大腸菌感染症多発警報を発令[対象期間；10 月 14 日(火)から 10 月 26 日(日)]
- 大津市内において腸管出血性大腸菌感染症と診断された患者および患者の接触者から腸管出血性大腸菌O145 を検出
- 小児科定点医療機関からの報告数が多かった感染症は感染性胃腸炎、水痘およびＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 水痘が増加
  - 先週と比べて、全ての保健所管内で増加もしくは横ばいで推移
  - 大津市保健所管内では著しく増加
- 突発性発疹の定点当たり報告数は 38 週より継続的に増加

1. 全数報告の感染症

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に報告することになっています。これらの報告のあった症例を診断された週毎に集計しています。

診断週	類型	報告数	詳細情報
第 42 週診断例	一類感染症	報告なし	
	二類感染症	結核　4例	肺結核（70歳代男性；1例、30歳代女性；1例）、無症状病原体保有者（10歳未満男性；1例、30歳代男性；1例）
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症　16例	O145 VT2（10歳未満男性；5例、10歳代男性；1例、30歳代男性；2例、40歳代男性；1例、10歳未満女性；4例、30歳代女性；1例、50歳代女性；1例）、O157 VT不明（60歳代男性；1例）
	四類感染症	報告なし	
	五類感染症	報告なし	
第 41 週以前の診断例（*）	二類感染症	結核　7例	肺結核（30歳代男性；1例、70歳代男性；1例、80歳代男性；1例）、結核性胸膜炎（60歳代男性；1例、80歳代女性；1例）、無症状病原体保有者（40歳代男性；1例、40歳代女性；1例）
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症　3例	O145 VT2（10歳未満男性；1例、10歳未満女性；2例）
	五類感染症	カルバペネム耐性腸内科細菌感染症　1例	*Enterobacter cloacae*、70歳代男性；1例
		侵襲性インフルエンザ菌感染症　1例	80歳代女性；1例

(*)平成26年　第　1　週以降に診断され平成26年第　42　週に報告された症例

2. 全数報告の感染症の累計報告数と保健所管内別報告数

平成 26 年第 1 週以降に診断された疾患を集計して累計報告数を滋賀県と全国について下の表に示しています。また、本週報の当該週に報告された症例数を保健所管内別に示しています。なお、期日以降に報告があった場合は、再集計し掲載しています。

分類	疾患	滋賀県		保健所別（42週）							平成26年累計		平成25年累計※	
		41週	42週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	滋賀県	全国	滋賀県	全国
二類	結核	7	4	1	2	0	0	0	1	0	179	20,810	277	26,471
三類	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	3	142
	腸管出血性大腸菌感染症	11	16	15	0	1	0	0	0	0	50	3,641	40	4,033
四類	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	410	0	128
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	48
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	985	18	1,111
五類	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	897	6	1,041
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	196	1	284
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症※※	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	77	－	－
	急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	374	3	358
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140	2	205
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	217	5	207
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1,218	13	1,550
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	55	0	82
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	161	3	106
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	1,361	11	970
	梅毒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1,308	3	1,220
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	111	0	128
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	295	122	14,357
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	31
	麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	451	2	232

※　：平成26年1月現在 の暫定数

※ ※ 平成26年9月19日より全数把握対象の五類感染症に追加

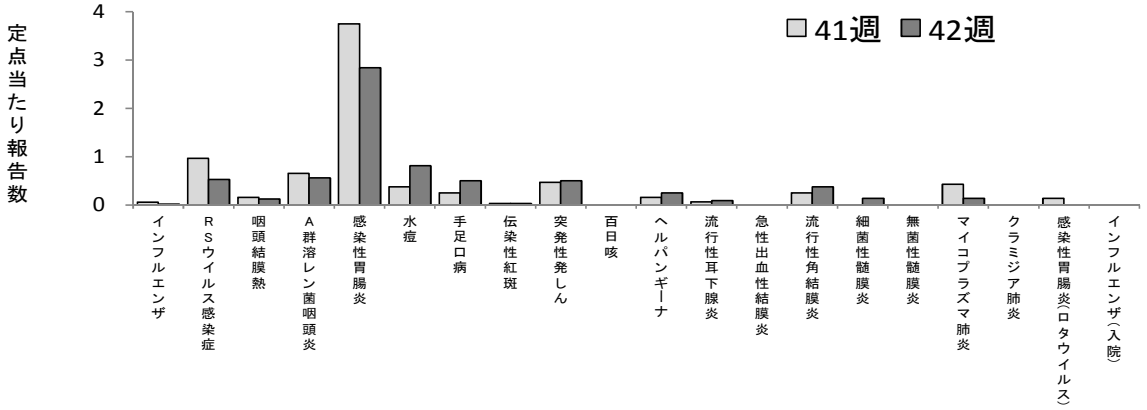
3. 定点把握の対象となる五類感染症の発生状況

感染症法で定められている五類感染症のうち、滋賀県が指定した定点医療機関（指定報告機関）から報告される感染症を定点把握対象感染症と呼びます。

警報；　なし　　注意報；なし

1) 小児科定点医療機関からの報告数が多かった感染症は感染性胃腸炎、水痘およびＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎です。
2) 水痘が増加しました。
   先週と比べて、全ての保健所管内で増加もしくは横ばいで推移しています。
   大津市保健所管内では著しく増加しました。
3) 突発性発疹の定点当たり報告数は高くはありませんが、38 週より継続的に増加しています。
4) 流行性角結膜炎が甲賀保健所管内で増加しました。

定点把握の対象となる五類感染症の定点当たり報告数



4. 定点把握の対象となる五類感染症の保健所管内別の定点当たり報告数

週単位(月曜日から日曜日)で報告される定点把握対象感染症の、滋賀県および管轄保健所別定点当たり報告数を下の表に示しています（定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数）。

定点区分（定点数）	疾病名	滋賀県		保健所別（42週）						
		41週	42週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ（53）	インフルエンザ	0.06	0.02	0.09	0	0	0	0	0	0
小児科（32）	RSウイルス感染症	0.97	0.53	0.43	0.50	0.25	1.60	0	0	1.00
	咽頭結膜熱（プール熱）	0.16	0.13	0.00	0.17	0.25	0.20	0	0	0.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66	0.56	0.43	0.67	0.75	0.40	0	1.00	1.00
	感染性胃腸炎	3.75	2.84	2.86	2.33	1.50	4.40	0.50	5.75	2.00
	水痘	0.38	0.81	1.29	1.00	0.25	1.20	0.25	0.25	1.00
	手足口病	0.25	0.50	0.86	0.83	0	0	0	0.50	1.50
	伝染性紅斑（リンゴ病）	0.03	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0
	突発性発しん	0.47	0.50	0.29	0.83	0.50	1.20	0	0.25	0
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	ヘルパンギーナ	0.16	0.25	0	0	0	0.60	0	0.25	2.00
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.06	0.09	0	0	0.50	0	0	0.25	0
眼科（8）	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	0.25	0.38	0	0	3.00	0	0	0	0
基幹（7）	細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	0.43	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※	0.14	0	0	0	0	0	0	0	0
	インフルエンザ（入院）※※	0	0	0	0	0	0	0	0	0

＊　平成25年10月14日の滋賀県感染症発生動向調査事業実施要綱改正に伴い、基幹定点からの報告数（定点当たり報告数）を掲載

＊＊平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数（定点当たり報告数）を掲載

赤字：　警報レベルの基準値（開始基準値または終息基準値）を超過

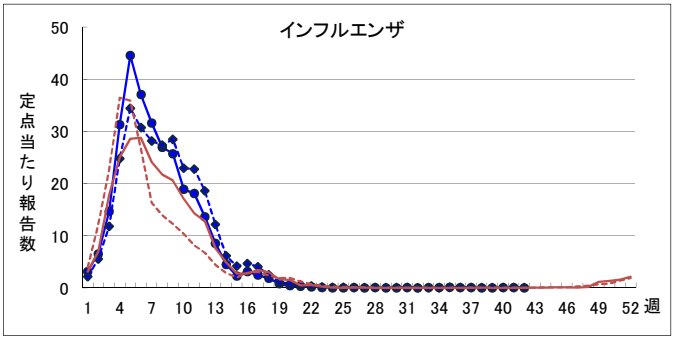
紫字：　注意報レベルの基準値を超過

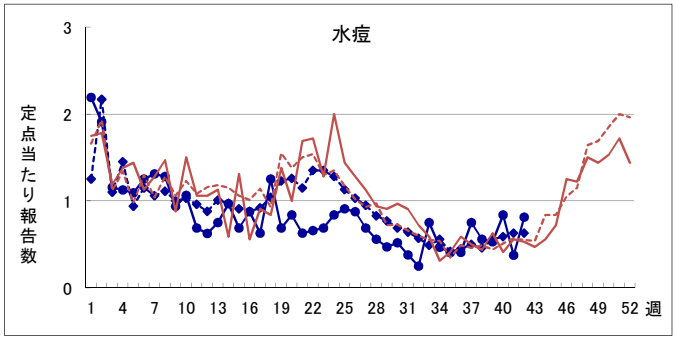
5-1. 疾病別定点当たり報告数

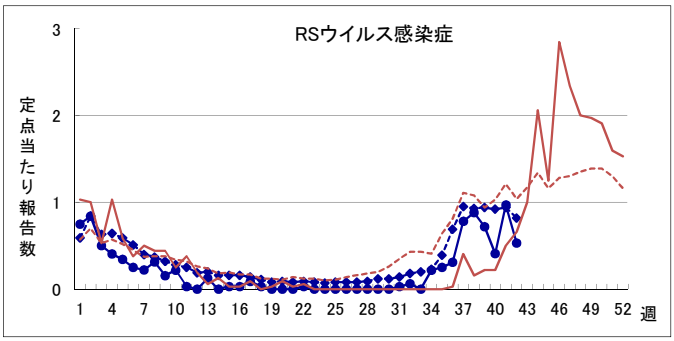
平成26年第42週

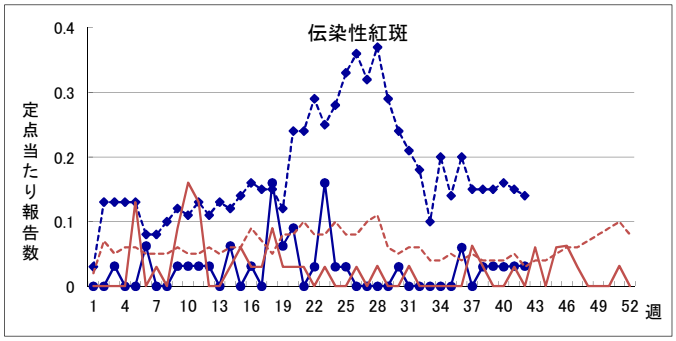
平成25年　全国　　平成25年　滋賀県

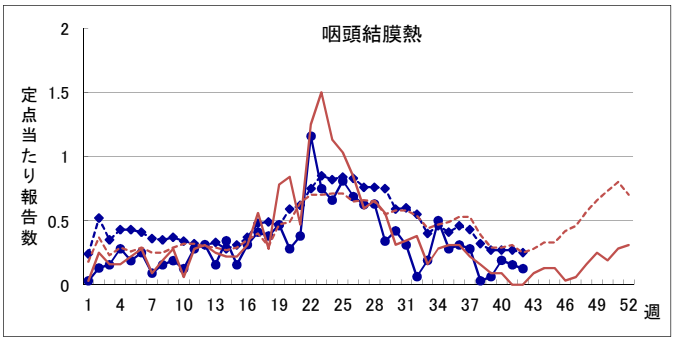
平成26年　全国　　平成26年　滋賀県

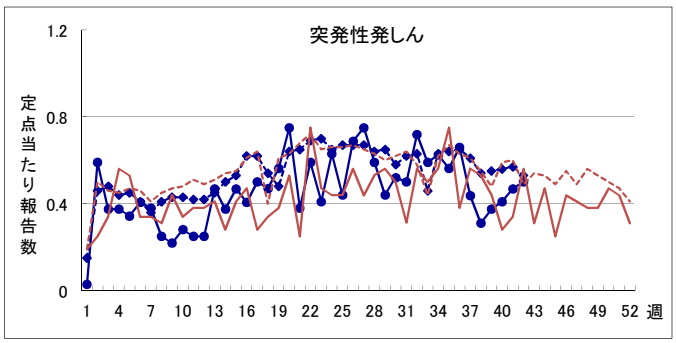


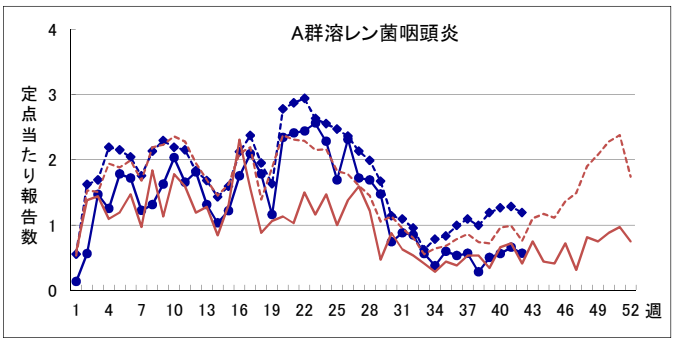


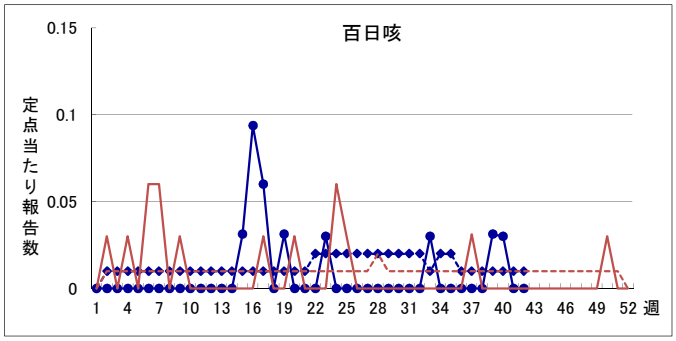


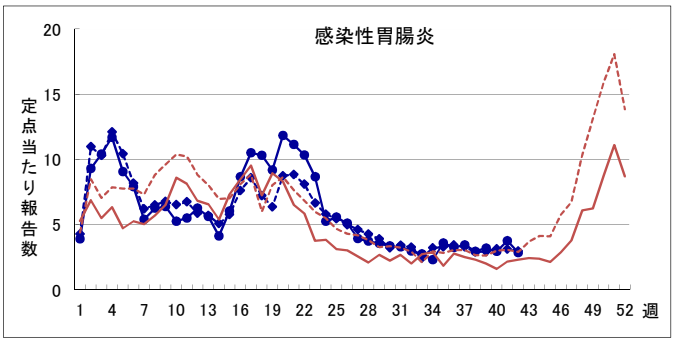


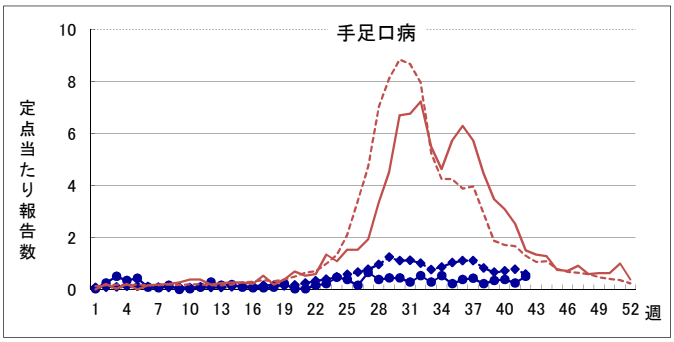






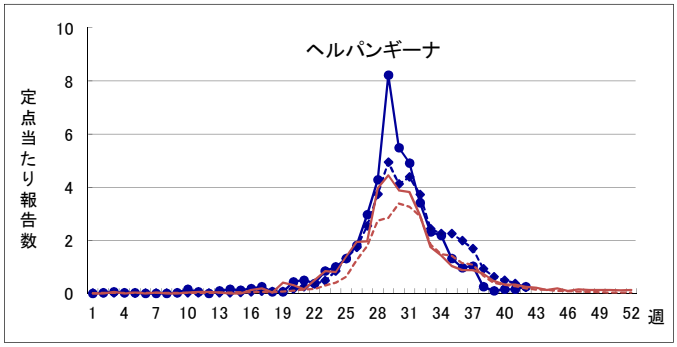
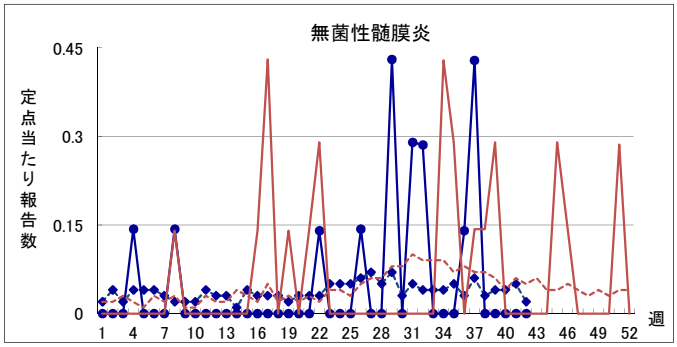
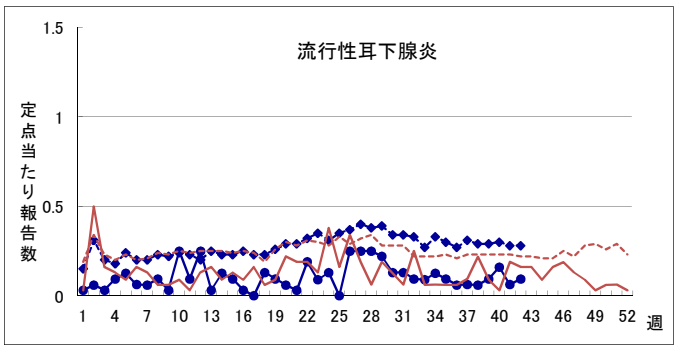
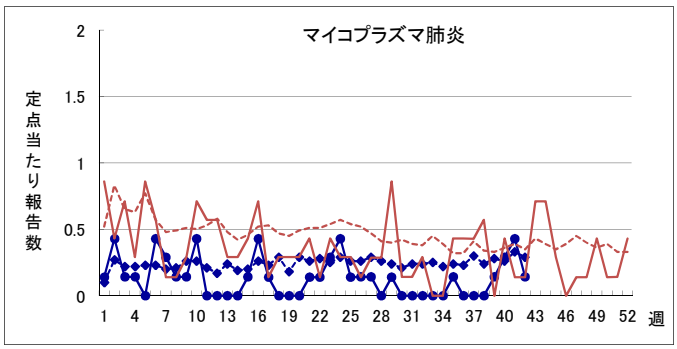
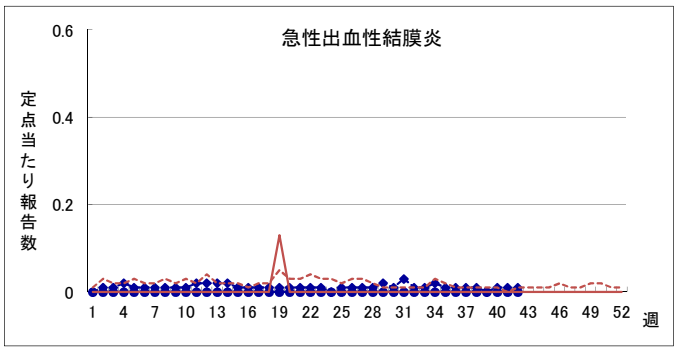
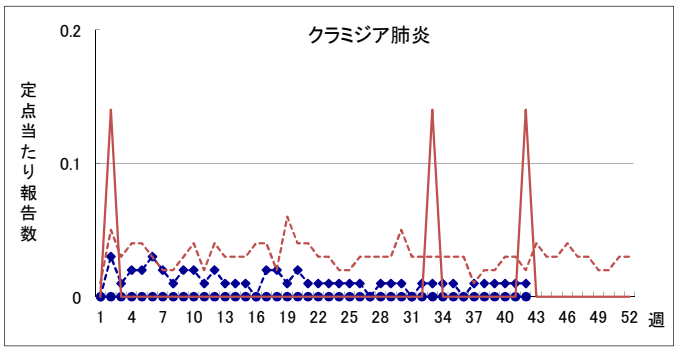
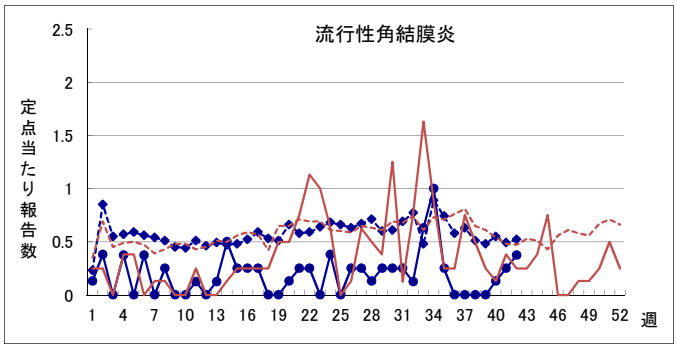
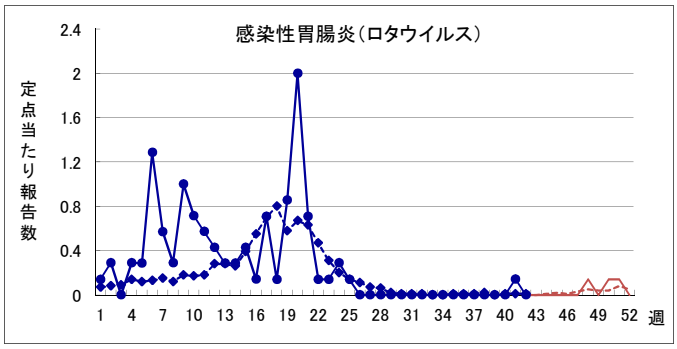
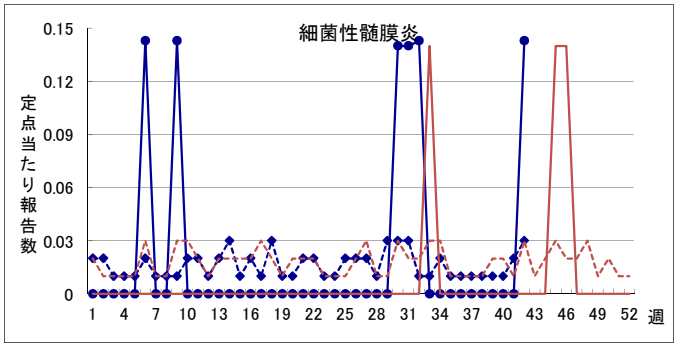
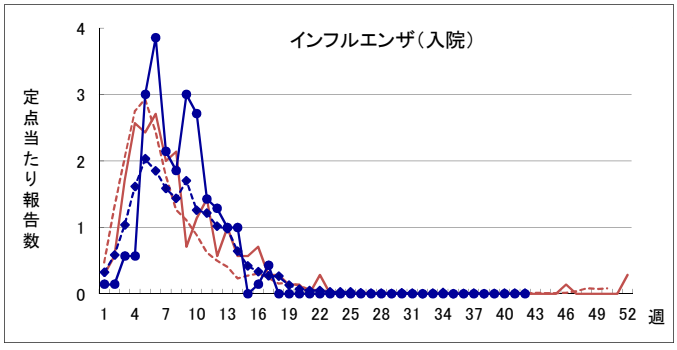






5-2. 疾病別定点当たり報告数

平成26年第42週

平成25年　全国　　平成25年　滋賀県

平成26年　全国　　平成26年　滋賀県